

教科教育課だより

～未来ある子供たちのために For Our Children～

第32号 H29. 9. 1

茨城県教育研修センター
教科教育課
☎0296-78-3213 (直通)



これからの図画工作・美術科研修講座の様子を紹介します

8月3日(木)、10日(木)、23日(水)に、「これからの図画工作・美術科研修講座」を実施しました。

第1日では、文部科学省教科調査官の東良雅人先生による講義、茨城県近代美術館学芸主事の日座真由美先生・小野友子先生による講義・演習を行いました。

第2日では、A(図画工作)コース、B(美術)コースに分かれ、講義・実技を行いました。

【第1日】A・Bコース共通(8月3日)

講義「図画工作・美術科における授業改善の視点」



東良調査官から、次期学習指導要領についての説明及びこれからの授業づくりについて御指導をいただきました。受講者からは、図工・美術科で育成すべき資質・能力や今後の授業に生かせる内容を学ぶことができたとする感想が寄せられました。

講義・演習「鑑賞教材を活用した授業づくり」



図工・美術科の鑑賞の目標・内容について確認した後に、複製画の鑑賞及びアートカードを使った鑑賞に取り組みました。様々な鑑賞法を初めて体験した受講者が多く、この楽しさを子供たちにも味わわせたいという感想が多く聞かれました。

【第2日】Aコース(8月10日)

講義・実技「表現と鑑賞を関連付けた図画工作科の授業づくり」



「自分いろいろがみで作品づくり」という題材で、表現と鑑賞を関連付けながら実技を行いました。受講者からは、表現に鑑賞を位置付け、他者と関わりながら製作することで、よい作品づくりにつながる事が理解できたとする感想が寄せられました。

【第2日】Bコース(8月23日)

講義・実技「表現と鑑賞を関連付けた美術科の授業づくり」



「自画像の制作」を題材に、表現と鑑賞を関連付けながら実技に取り組みました。受講者からは、基本的な題材でありながら、指導に悩んでいたため、多くの学びを得ることができたとする感想が多く寄せられました。